

日中戦争からアジア・太平洋戦争へ

— 戦場の実態にもふれつつ —

講師

よしだ ゆたか
吉田 裕 氏

一橋大学大学院社会学研究科特任教授

○主要研究領域：日本近現代政治史、日本近現代軍事史

○著 書：『日本軍兵士』（中央公論新社）

『アジア・太平洋戦争』（岩波新書）

『日本人の戦争観』（岩波現代文庫）他多数



日時

平成30年

10月21日(日)

13:30~15:00(受付13:00~)

会場

滋賀県平和祈念館 2階研修室

(東近江市下中野町431番地)

参加無料

先着80名

(事前申込制)

お申込み・お問い合わせ

TEL 0749-46-0300

FAX 0749-46-0350

MAIL heiwa@pref.shiga.lg.jp

- ・定員は80名です(申し込み先着順)
- ・お申し込みは、電話、ファックス、メールでお願いします。
お名前、お電話番号、ご住所をお知らせください。
- ・定員になり次第、申し込み受付を終了いたします。

講演概要

日中戦争とアジア・太平洋戦争(いわゆる太平洋戦争)とは全く別の戦争ではありません。この2つの戦争が連続した密接不可分な戦争であったことをさまざまな面から明らかにし、あわせてアジア・太平洋戦争の苛酷で凄惨な戦場の実態にもふれてご講義いただきます。

吉田先生からのメッセージ

毎年めぐってくる8月15日の終戦記念日。全国戦没者追悼式の会場では、「先の大戦」という言葉がよく使われますが、「先の大戦」とはどの戦争のことを指しているのでしょうか。終戦記念日の開催を決めた閣議決定では、追悼の対象は日中戦争以降のすべての戦没者となっています。しかし、実際には「先の大戦」という時、多くの国民がまず思い浮かべるのはアジア・太平洋戦争のことではないでしょうか。この講演では歴史の中に埋もれがちな日中戦争とアジア・太平洋戦争の関係を考えます。